

# 静岡県支部会報

第23号

日本大学通信教育部校友会

令和元年11月10日発行

## 論壇 「生きる力」

長岡恵子 文学部 H24年卒

私は生まれが秋田です。実家は、主に米農家で、父や叔父はサラリーマンでした。12月頃からチラチラと雪が舞い降りてくると冬が始まり、やがて根雪となり4月頃まで長い冬が続きます。子供の頃は、冬は雪遊び、春は野原の花を摘んだり、いろいろな遊びをしました。中でも思い出深いのは、木材を運ぶ6人乗りソリを持って来た子がいました。後部に体重がありそうな子がブレーキをかける役になって、私たちは前に乗り、山の上から滑っていきました。「いくぞう!」「あぶない!」「あぶないぞ!」と、奇声を上げながら山から滑っていきました。「陣取合戦」に夢中になって遊んだ思い出もあります。これらは、今でもワクワクする光景です。

今の子供達を見ると、私が体験してきたワクワクして生きることが少なくなってきたと思います。私は、ワクワクすることで生きる力をもらいました。現代社会は、あらゆる面で情報が飛び交う時代であり、また、他方で、人間の生き方を疑問視する意見もあり、価値観が交錯している時代だと思います。こんな時、「心を静めて耳を澄ます」

(ルポライター 鎌田慧 2008年6月7日)の言葉が心に響きます。これまで日本において自分の主張のみだったけれども、これからは心を静かにして相手の話をよく聞くことであり、よいコミュニケーションをとることによって、よい交流をすることが大事であると思います。「経済がうまく行くことが人間の幸である」とは限りません。子供が学校帰りに道くさをしながら帰れるようなゆとりのある社会が必要で、この環境づくりは大人の大きな責任です。

子供は、人間の、国の、我が子としての宝であり、皆で守り育てて行かなければなりません。それを思うと、道くさのできる自由な環境、友達同士で遊べる環境、自然と接する環境、ワクワクして生きる環境が子供達の生きる力を作るものと思います。



2019年10月7日(月)記

以上

\*\*\*\*\*

静岡県校友会支部長挨拶

後藤正治 経済学部 S43年卒

昨年の会報発行から1年が経ちました。第23号をお届けします。昨年は、嶋津亮君が税理士試験に合格して静岡県支部校友会は、彼から大きな活力をいただきました。これは、支部校友会を超えて日本大学通信教育部在校生全員にお伝えしたい大きなニュースでした。今年は、どんな会報をお送りできるか、期待しておりましたところ、深澤洋二郎さんが「学ぶことに終わりはない」を

投稿してくれました。この原稿は、向上心に燃え人生をひたすら邁進する美しい姿を表しています。また、定時総会の記念講演をしてくださりました柿崎博美先生が講演原稿を、そして、会員のみな様が論壇、自己紹介、近況報告の原稿を送ってくれました。校友会会員の活力を感じ取っていただければ幸いです。

以上

静岡県校友会支部総会 2019.9.28 記念講演  
「研究対象としての魚類の面白さ」

日本大学短期大学部（三島）  
食物栄養学科助教 柿崎博美

今回の講演では、魚類を対象とした研究を行うことの面白さと実際の研究例についてお話しします。

一口に魚類を研究するといっても幅広い分野が存在します。例えば、行動・生態、形態、進化、医学や食への利用などといった様々な研究が世界中でされています。このように、魚一匹でも様々な利用方法があります。

魚類を研究試料とするメリットをお話しします。現在、地球上に生息している魚の種類は、海水・淡水・汽水域合わせて約 20,000 種類（諸説あり、4 万という研究者もいる）といわれています。今、この時も絶滅の危機に瀕している魚もあり、種は減少傾向にあります。しかし、地球表面積の約 70%は水域であり、そこには未発見の種や種類を同定・分類できていないものも数多くいると予想されます。

我が国、日本には海水・淡水・汽水域合わせて約 3,000-4,000 種類いると言われています。これは、地球上に生息している魚種の 1/5 ほどの種が、この狭い日本水域に存在しているということになります。その理由として、日本が南北に縦長であり、様々な気候の地域が存在するということが挙げられます。また、海流の関係や砂浜やゴロタ場、崖、川、湖、沼など地形や水の流れるスピードも様々であり、それらが生み出す環境に適応するように様々な種が生息していると考えられています。

また、魚類といっても様々な分類があります。



我々が通常食べている種は、条鰭魚類（硬骨魚類）といってタイやイワシなどがこれに分類されます。その他にも、エイ・サメなどの軟骨魚類、シーラカンス・ハイギョなど肉の鰭をもつ肉鰭類、ヤツメウナギなどの無顎類が現存しています。これらの種は、カンブリア紀に起こったとされる「カンブリア大爆発」という様々な生物が生まれた出来事から、環境の変化や生存競争などといった過酷な環境に適応し、生き抜いてきた種であります。

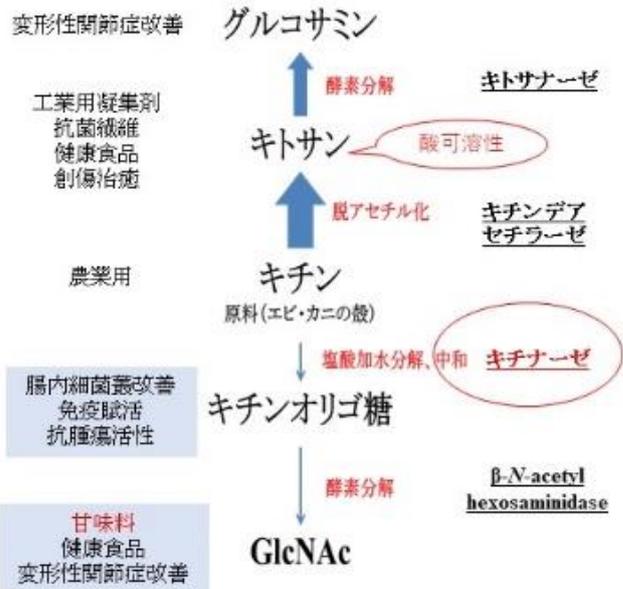
そして、何より重要なのは魚類というものは栄養素の塊であるということです。体を構成するうえで大切な良質なタンパク質、近年注目されている EPA や DHA といった不飽和脂肪酸、重要な生理機能・作用を示すために必要なビタミンやミネラルといった栄養素を豊富に含んでいます。しかし、現在では日本人の魚離れといった現象が起こり、消費量が日本では（世界では上昇傾向）落ち込んでいます。

ここまでの話しをまとめると、魚を研究試料とすると様々な研究ができ、魚はそれぞれで独自の進化を遂げており、新たなことが見つかる可能性が高いということ、さらには種類が豊富であるため他の研究者と被りにくいといったメリットがあります。また、食利用の観点からも良質な栄養素が豊富に含まれているため利用価値が高いと言えます。

そして、ここからは具体的な研究内容のお話しとなります。特許などの関係から記事にはできないものもあるため、ここでは当日皆様にお見せしたの中からはひとつだけお話しいたします。



# キチンとその利用について



## 【キチンとその利用について】

キチンは、エビ・カニなどの甲殻、昆虫の外骨格、イカの甲などに含まれている物質（アミノ多糖類）です。このキチンはセルロースについて豊富なバイオマスであり、オリゴ糖（キチンオリゴ糖）や単糖（GlcNAc: N-アセチル D グルコサミン）などに分解することで、その糖鎖数により様々な生理活性を示し、食品への利用が可能になることが知られています。しかし、自然界に存在するキチンのほとんどは利用されていないとされています。その理由として一番言われているのが、その構造についてです。キチンは、その化学構造により  $\alpha$ -キチンと  $\beta$ -キチン、 $\gamma$ -キチン（ $\alpha$ と  $\beta$ の混ざったもの）といった種類に分けることができます。そして、自然界に存在するキチンのほとんどは一般的な試薬では溶かすことができない  $\alpha$ -結晶構造（ $\alpha$ -キチン）をとっており、強酸や強塩基を用いて分解する必要があります。そうすると、廃液の心配があることから他の利用法の開発が必要となります。

そこで、注目したのが海の生物が持つキチン分解能力です。実は我々はキチンを食べても分解できません。それは、キチンを分解する能力を失っ

てしまっているからです。昔は、エビのしっぽを食べなさいよと言われた方も多いかと思いますが、実は分解できないため、そのほとんどは吸収できていないとされています。

しかし、魚はエビ・カニなどを丸飲みにし、全てを消化し栄養として暮らしています。その能力に注目し、研究題目にしたものがそれら生物の持つキチン分解酵素「キチナーゼ」についてです。キチナーゼは自然界の生物が持つ酵素であり、安全で食品にも使うことができます。

筆者はこれまで、たくさんの生物を用いてその酵素についての研究をしてきました。その中で、特に魚類や軟体動物においてキチンを分解する能力が高い種が存在することを報告してきました。そして、それら酵素の遺伝子を解析し、細菌にその遺伝子を組み込むことで大量生産につなげる研究もしてきました。この研究がさらに進めば、いつか皆さんをより健康にするための、安心・安全で手軽に栄養素をとることができる商品を提供できるようになると信じております。

最後に、皆様の前で講演させていただく貴重な機会を頂きましたこと誠に御礼申し上げます。



### 支部総会報告

2019年9月28日(土)、浜松アクトシティにおいて支部総会が開催された。静岡県は西部から東部まで長いので1年ごとに順番で浜松、静岡、三島の順序で開催しております。

今回の総会の出席者は、9名でした。写真前列向かって左側から浜松在住の笑顔が可愛い伊藤幸代さん、講師の柿崎博美先生、浜松在住・税理士の小松征夫さん、大高貞男さん、後列向って

左側から深澤洋二郎さん、副支部長杉山秀夫さん、久保田勝さん、支部長の後藤正治さん、浜松在住・税理士の嶋津亮さん、写真係で写っておりませんが、田中由雄さんです。

静岡市で開催される幹事会の参加人数が10名から13名になっておりますので、幹事会よりも少ない支部総会人数になり残念ですが、浜松地区の会員が少ないことからやむを得ないところではあります。

\*\*\*\*\*

### 役員会報告

毎年、役員会を6月と8月に開催しています。開催場所は、いつも静岡駅新幹線口、歩いて3分ほどの居酒屋や静岡南口店です。6月は、15日、8月は、24日に開催しました。8月は、向かって右手奥から山口良児さん、深澤洋二郎さん、石川貞夫さん、小松征夫さん、土屋忠得さん、杉山秀夫さん、長岡恵子さん、向かって左手奥から久保

田勝さん、後藤正治さん、田中由雄さんの10名の方々の出席でした。6月は、上記の方以外に、繁田雅希さん、大高貞男さん、鈴木栄作さんが参加されて賑やかに過ごしました。

役員会といっても会議事項は15分くらいで終了し、その後の親睦会が楽しみになっています。和気あいあい楽しい一時です。参加自由なので、会員の方々も大いにご参加ください。



## 東海ブロック総会に参加して

先日、9月14日、岐阜市で開催された東海ブロック総会へ行ってきました。写真、向かって左側から静岡県支部副会長小松征夫さん、愛知県支部長（東海ブロック長）藤田茂さん、静岡県支部幹事繁田雅希さん、本部校友会副会長肱岡堅一さん、向かって右側奥から、三重県支部長大形弘さん、奈良県支部長（近畿ブロック長）立花初代さん、静岡県支部長後藤正治、岐阜県支部長藤澤隆一さんの8名。

三重、岐阜、愛知、すべて1人、近畿ブロックから1名、校友会本部から1名、静岡から3人参加をしたものの総勢8名でした。各支部の活動報

告は、支部長のご苦勞が多く、各支部を持続することが困難な内容でした。校友会本部副会長の肱岡さん、近畿ブロックのブロック長立花さん、各支部長の方々の学識・お人柄は、素晴らしいものでしたが、開催支部の会員の参加がなく、淋しいブロック総会でした。

来年、東海ブロック総会は、静岡担当です。どのように進めるか。参加された方を失望させる東海ブロック総会、形だけの東海ブロック総会であるならば、ブロック総会自体の開催を中止した方が良いでしょう。静岡における東海ブロック総会の開催は、この見地から開催の是非を考えなければなりません。



\*\*\*\*\*

## 嶋津 亮税理士事務所 開設

2017年12月に税理士試験に合格し、その後、税理士業務を研鑽・励まれてきた嶋津君ですが、順当に2019年2月に税理士として事務所を登録されました。ただ、開業といっても、以前の事務所のお仕事をほとんどそのままやらせて頂いています、自分の事件は、当分、受任しないで仕事をしていく予定です、とのこと。いずれにしても、力強く進まれている嶋津君にお祝い申し上げる次第です。

〒433-8112 静岡県浜松市北区初生町 1187-6  
事務所 Tel : 053-488-7131  
事務所 Fax : 053-488-7131  
事務所 PCmail : shimazist@zmail.plala.or.jp



私の実家は新聞販売店を営んでいましたが、兄弟が多く子供心に貧しい暮らしだったと思いました。兄は中学まで、私は中・高まで、新聞（朝刊）配達を手伝いました。午前5時起き朝早い仕事だったので、同級生と顔を合わせることはありませんでしたが、時々夕刊の配達や集金を手伝うことがあり、日中に同級生と会うことが恥ずかしく嫌だったものです。

家には机は一つしかなく、高校受験など机に向かって勉強したことはほとんどありません。畳の上に寝転がって宿題をしたり、予習復習はメモをもって新聞配達中に覚えるという勉強方法でした。

高校1年のとき、父が大病を患い長期間入院したことがありました。その間、私は父に代わって朝2時起きをして、眠い目をこすりながら新聞作業の手伝いをしました。私にとって、苦しいことがあってもそれを乗り越える精神力、短時間を利用して学習する方法など、多くのことを新聞配達の実験の中で学んだと思います。

昭和43年に旧清水市内の商業高校を卒業し、同級生とともに就職しました。私は、姉や兄と同様に、高校を卒業して家計を助けることが当然のことと思い、大学進学は考えませんでした。機会があれば通信教育で大学を卒業できたらいいなと、頭の片隅に思っていました。

最初の勤務地は、沼津市で清水駅までの列車通勤だけで約1時間、この時間を利用して読書することを心掛けました。公務員として仕事をする中で、全体の奉仕者としての使命感や質の良い住民サービスの提供するためには、自身の知識・能力を向上する必要性を感じ、昭和49年に東海大学夜学短大へ24歳で入学しました。短大の学生は、新卒者から社会人まで様々でした。授業内容も真理を探究し、幅広い知識と個性豊かな視野の獲得をしながら専門的な学問をする、といった高校時代とは違った雰囲気の中で充実した学園生活を過ごすことができました。

短大では中学社会科の教員免許が取得できる課程があり、附属中学校での教育実習も経験しました。教育実習では、指導教諭から、「子供は誰でも未知の能力をもって生まれる。」「教師は白紙の子供に自由に描くことができる。」等々教育や教師のすばらしさを教えられ、今から教師になろうかと真剣に思った時期もありました。ただ、「白紙」にも「上質紙から更紙まであるように、子供の環境や生まれ持った素養も考慮する必要がある」とも教えられました。資格取得のため単に教員免許を取得する学生も多いようでしたが、指導教諭から「教師にならなくても、教職課程の履修は自分の子供の教育にも役立つ。」と言われ、教育実習の過程で、単に資格を取るという手段だけではなく、人格的な向上をも学ぶことができました。

もっとも、我が子は理想どおりに教育できませんでしたが、健康に育てくれたのがせめてもの救いといえるでしょうか。私には男女二人の子供がおりますが、その子供たちが成長し、それぞれ進路が決まると、今度は自身に対する物足りなさを漠然と感じるようになり、職務に関連した専門的な知識・技能の習得を目指したいと思うようになりました。

今まで、私の職種は、会計・経理の仕事が大半でしたが、突然、40歳半ばに施設管理の部署に配置換えになったため、庁舎の建築や施設・設備の維持管理など未経験の仕事の処理に困惑しました。当時、課長補佐の役職だったので、分からないことは部下や同僚に聞くしかありません。ところが、「課長補佐だからそれ位は知っているでしょ。」とあって同僚・部下は私の相手をしてくれません。それならば聞きかじりの知識でなく、専門的な知識を一から学ぶべきだと一念発起し、その年に二級建築士を受験し合格したのです。翌年以降、電気工事士（1種・2種）、消防設備士（甲種・乙種）、危険物取扱者資格等を取得、こうして建築・設備関係の基礎的資格を取ることができたので、苦手だった施設関係の仕事もスムーズに処理できるようになりました。

学ぶことに終わりはない

静岡市在住  
平成12年通信教育部商学部卒  
深澤洋二郎

しばらくすると、また、毎日の生活に物足りなさを感じるようになり、仕事とは余り関係のない大学の通信教育をやってみるのもいいかなと思うようになりました。数校の入学願書を取り寄せて、以前から気になっていたスクーリングの受講が可能か検討したところ、日大には夏季スクーリングのほか、土日スクーリングや地方スクーリングがあることを知り、これなら私にもチャレンジできると思い、平成10年4月に48歳で3年に編入学しました。

日大通信教育部の入学生受入方針は、「開かれた大学の理念に基づき、教育の機会均等を図るため、また生涯学習社会の実現に向け、積極的に受け入れるものとする。」としているので、私は、生涯学習の機会を与えられた者として、一所懸命に努力して幅広い知識の修得と人格の陶冶を目指したのです。試験前のレポート作成にはとても苦労しましたが、幸い、2年で卒業することができ、平成12年3月、晴れて日本武道館での卒業式に出席しました。

日大通信を卒業後の翌年、偶然にも静岡大学文学部（法科）の夜間主コース3年編入学試験が初めて実施され、それに合格して2年後に卒業、続いて大学院（科目履修生）を2年で修了し、静大には計4年間通学しました。私の場合、社会人になってから定時制高校専修コース（建築科）の2年を含め、学校教育に在籍した期間は10年間も学んだこととなります。

しかし、学校教育や社会教育で学んでいる間でも、仕事を手抜きしたことはありません。なぜなら、夜学や通信教育で学んでいることを職場にはナイショにしていた事情もあり、他人が趣味や娯楽に興じている時間を利用し、細切れの短時間を有効利用して勉強時間に充てたに過ぎません。夜学や通信で学んでいることで、仕事の集中力を欠くことになったり、仕事ミスを誘発させたり、悪影響を及ぼさないように細心の注意をしていたからです。

平成22年3月、定年退職により公務員生活に別れを告げましたが、再就職先も県庁内の外郭団体の事務局長として7年間勤務しましたので、公務員と余り変わらない生活を平成29年まで続け

ることができました。私は、再就職先の任期が切れる少し前の平成26年に行政書士の登録をし、平成28年に海事代理士試験に合格したため、同年、海事代理士登録をして現在に至っています。

私の場合、学習結果としての卒業や資格取得により、さらに次の学びを求めてきた経緯があります。現在、在留資格や帰化等を行う申請取次を行う行政書士の受講や成年後見事務等の研修・効果測定を終えたところなので、次は、一級建築士へのチャレンジです。私が、20数年前に二級建築士に合格し、これがきっかけで古代建築に興味を持つようになりましたが、海外旅行においても古代遺跡や教会建築を見学する上でとても興味深く参考になっています。

できれば来年、一級建築士としてキャリアアップした目線で海外旅行をしたいと考えていますので、新聞少年時代の短時間に集中する勉強方法で一級建築士合格を目指したいと思います。そしてそれが成就すれば、また別の目標を見つけ、生涯にわたって学び続けたいと考えています。



平成12年通信教育部商学部卒  
深澤洋二郎

令和元年9月27日（金）記  
以上

\*\*\*\*\*「自己紹介」\*\*\*\*\*

大高貞男 文学部英文科 昭和 35 年卒



私は、昭和 31 年 4 月に文学部英文科に入学し、昭和 35 年 3 月に卒業しました。現在、JR 安倍川駅近くの世帯数約 260 戸の「上河原」に暮らしています。

40 年近く郵政の仕事をし、今は、感謝しながらの毎日です。定年後は、少しのんびりしたいと思っていましたが、自治会の仕事が回ってきました。10 年ほど自治会長をしましたが、現在は顧問をしています。古紙、空ビン、空き缶の整理や学童の下校時の見守りが日課になっております。

以前は、気分転換に一人旅をしました。現在は体調が不十分で旅を控えています。在職中、フランス語を使用する仕事をしたので、北欧の 4 カ国を含め、ヨーロッパの 15-6 の国々へ一人旅をしました。由比の山奥で生まれ育ったので、山が好きです。アメリカ、カナダへは 1 回しか入っておりませんが、フランス、スイスへは 4 回ほど行きました。

通信教育の静岡県支部幹事を体力の続く限りしっかり参加したいと思っております。よろしくお願いいたします。

\*\*\*\*\*「自己紹介」\*\*\*\*\*

今村若子 文学部 平成 5 年卒



入学前、幾つかの大学の資料を取り寄せ、科目習得試験が地元焼津で受けられる地の利があるので、これを生かそうと日大への入学を決めました。スクーリングは、全国各地で行われるため仕事休みを利用して、つくば市や福岡市へも行きました。旅行・鉄道好きの私にとって学割で切符が買える喜びは大きかったです。それ以上にスクーリングに参加することで熱心な先生や共に学ぶ人生の先輩方など多くの出逢いを得られたことが心の支えとなりました。

卒業後しばらく家事・育児に専念していましたが、大卒を活かし、小さな塾を始め 20 年が経ちました。華道のほか彩りある毎日を過ごしています。

無知の自覚から大学を志し、卒業して 26 年、知の世界に未だ道遠く、学ぶほどに無知を知る毎日です。一生勉強と思えます。

\*\*\*\*\*「自己紹介」—スクーリングの思い出—\*\*\*\*\*

山田澄枝 文理学部 S55 年卒



一生の仕事として教師になることを決意したのは、20 代後半のことでした。30 年ほど前のことです。不足の単位を取るため、文理学部の 3 年次に編入しました。一番の思い出は、夏のスクーリングです。一番前の席に座り、久しぶりの学生気分を楽しみました。先生方も、熱の入った授業を展開してくれました。そんなある日、年配の男性と話をする機会がありました。哲学を専攻している七十過ぎのお医者さんでした。「この歳だからこそ、勉強せずにはいられない。」と彼が言った言葉がズシンと胸に響きました。勉強の奥深さを感じないではいられません。その後、教師になることができましたが、普通の大学

だけでなく、通信教育で学べたこと、真摯に勉学に励む様々な年齢層の人たちに出会えたことは私の財産になっています。

後藤正治 先生 2019/10/7

ご無沙汰しております。先生もお元気でお過ごしでしょうか。

先日は、メールと勇気をくれる深澤洋二朗さんの原稿をくださり、ありがとうございました。日大通信教育部には本当に素晴らしい先輩方がいてくださり、大変うれしく存じます。

さて、私事ですが、4月より専門学校の講師をしております。日々、新しいことに向き合い学ぶことが多いです。そこで、大変厚かましいとは存じますが、先生にお伺いしたいことがあります。

学びたい、変わりたい、やってみたい、とは思うものの一步が踏み出せず、また、踏み出してみたものの、すぐ踵を返してしまう子供に対して、親や友人、周りの大人たちができることはあるのでしょうか。もしあるならば、それはどんなことでしょうか。

お忙しいと存じますが、もし可能であれば、よろしくお教えください。

K・N

## ある後輩とのメール交換

K・N 様 2019/10/13 返信

子供たちをいかに導いていくか、これは、親や親族、先生方の永遠の課題です。これが答えです、と言えることは難しいです。子供さんの年齢によって、違ってくるものと思います。お子様が小・中学生の場合でしたら、私の経験からお話しすることはできます。

アドバイスの一つとして、「頭が良いと思うこと」の原稿をお送りします。この原稿は、自分の娘に贈った言葉ですが、これは、自分がいかに自分自身の中にもう一人の自分を発見してきたかの模索に基づきます。「見本にしたい立派な人を見習う」というのではなく、もう一人の本当の自分をいかに再発見していくか、でした。

後藤正治

### 頭が良いと思うこと

頭が良いと思うこと。これは、自分が持っている自然な考えと本質を確認することです。

1、君は、自分の能力をどのように考えていますか。自分の能力に対して、絶大な信頼を持っているれば、合格点ですが、そうでなければ、直ちに、自分の能力に対する信頼を確固たるものにすべきです。

2、自分はバカだろうか。違います。

(1)「このやろう！ばかたれ！」と怒鳴られるとき、カッとなる自分があります。これは、「俺(私)は、バカじゃあない。このやろう！」という自分の自然の叫びです。これを大事にしてください。

(2)「バカじゃない」は、「俺(私)は頭がいいんだ」という叫びです。「バカじゃない」は、消極的です。もっと、積極的に端的に「俺(私)は頭がいいんだ」とはつきりを思うことです。「俺(私)は、頭がいいんだ」は、自分にある野生の本能です。自分の荒ぶる野生の本能に火をつけて

ください。

(3)「このやろう！ばかたれ！」と怒る人、けなす人、これは、酷いやつです。しかし、俺(私)を、「悔しい」と磨いてくれる憎い奴です。俺(私)を荒砥のように。容赦なくゴシゴシと削るやつです。しかし、磨いてくれる嫌いな奴、こういう人を「憎みながら感謝してください」。

3、ところで、野生の本能が「俺(私)は頭がいいんだ」と叫びますが、本当に俺(私)は頭が良いのだろうか。ただ、自分が根拠もなくそう思うだけなんだろうか。違います。本当に頭の良い自分がいるのです。これを確認してください。

(1) 試験が迫ってくると、緊張感が高まり、集中力・理解力・記憶力が高まり、普段のレベルをはるかにしのぐ自分を発見します。親が亡くなる、親が倒産する、失業する、自分が失恋する。こんな時も、同様に普段のレベルをはるかにしのぐ自分を発見します。これは、他人ではなく、本当に

いる「もう一人の自分」です。これをしっかり見つめることです。この自分は、優秀な自分です。

(2)「もう一人の自分」がいつもいるようにしたい。しかし、「もう一人の自分」は、このたまにしか自分に訪れません。たまにしかこない「もう一人の自分」をいつもいるようにしてください。

この自分が1ヶ月に1回ではなく、1週間に1回、さらに、毎日いるようにすると、自分の能力は、10倍に、それどころか30倍の自分の能力になります。低い谷間の能力を本当に存在する自分の高い能力で、埋めてやってください。「人間は頭を使えば使うほど頭が良くなる」と、言われますが、人間の頭というのは、使っていくと、確かに良くなっていきます。

(3) どうしたら、「もう一人の優秀な自分」がいるようにするか、大いなる課題です。こんな時、俺(私)を「このやろう!ばかたれ!」と怒る人、けなす人は、大事な人になってきます。

他にどういうふうにしたら「もう一人の優秀な自分」がいるようになるか、工夫し、悩むことです。

(4) 前進は、1年後に成長していることです。1年後に成長するというのは、1ヶ月に成長することです。そして、1ヶ月に成長することは、1週間に成長することです。1週間は1日の積み重ねです。そうすると、1日に成長する自分を求めなければいけません。1日に成長することとはなんだろうか。それは、今、今を大切に、努力することです。前進と人生は、今の努力の積み重ねしかありません。

日大通信教育経済学部3年生の夏のスクーリングで司法試験をやろう、と決めました。以来、司法試験に向けて歩んできましたが、何度も落ちました。落ちるたびに、失意と必ず合格してやる

という思いの連続でした。今を大切に、努力することです。

4、人の能力は、原石です。みな、才能を持っています。ただ、01 磨けば輝くんだ、と言うことを知らないこと 02 磨く方法(思考法)を知らないこと 03 磨く行為に苦しみが伴い。これを乗り越える精神力が不足がちです。

君は、知っていますか。路傍の石たち、海岸にうち寄せられている石たち、何の輝きもなく、忘れられている石ですが、これらは、磨けば、石碑のように輝きます。「自分は、海岸にうち捨てられている石であるかも知れないが、大きく輝く石になりうる石であること」を君は、認識することです。そして、俺(私)は、「頭がいいんだ!」と叫ぶことです。

5、このように考えて勉強を続けていても、時々、自分に対する失望感が襲ってます。自分はダメではないか。頭が悪いのではないか、こういう疑問が出てきます。このような状態になった場合、それはそれでよいのです。人間はスーパーマンではないのですから、失望感はやむを得ないところで

す。しばらくしてから、「俺(私)は天才だ。頭が良いんだ」と叫んでください。また、激しい力強い自己が生まれてくるでしょう。人生は、この繰り返しで強い自分が生まれてくるのです。

6、「頭が良いんだ」ということは、自分の野生の叫びです。これを心で激しく叫びなさいということです。もとより人に言うことではありません。

1994.04.12 (火) 記  
2019.10.13 (日) 追記

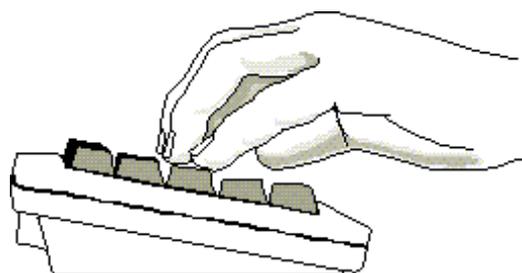
後藤正治

2019/10/14

早速のご回答をありがとうございます。  
自分を励ましてあげよう、そう生徒たちに言ってみようと思います。  
厚かましいのですが、もう一つ質問をさせていただいてもよろしいでしょうか。

K・N

その後もメール交換が続く...



## 会員参加と会費のお願い

定時総会には、気楽にご参加いただけると幸いです。会員には、教師、税理士、海事代理士、行政書士、弁護士など多彩です。大いに相談や会員同士で活用をしてほしいと思います。

静岡県支部会費は年額1,000円ですが、会費を支払った以上に有益な話や交流ができるものと思います。

この会報をお受け取り次第、お忘れの無いよう同封の郵便振替用紙を用いて振込んで下さい。予算は大切に使用させて頂いており、支出にあたっては、必要最低限度での使用を心掛けております。ご理解とご協力を切にお願いいたします。

ご寄付は多少にかかわらず歓迎いたします。

### <振込先>

振替口座 00880-7-35164  
日本大学通信教育部校友会 静岡県支部

支部長 後藤正治

## 広告

きる限り会員の皆様の参加型会報としたい。この求めの中で、論壇「生きる力」の原稿を長岡恵子さんからいただきました。④ 自己紹介欄を設け、写真の掲載数も増やそう。こうして自己紹介原稿を充実させています。

これからの会報について、ご意見いただければ幸いです。

幹事長・事務局長の田中由雄さんには、大変助けられています。役員会、総会の準備と会報の発送など事務量は多大です。また、この会報は、のぞみ事務所の事務員がサクサクとレイアウト、原稿、写真、校正をしてくれました。感謝、感謝です。

みな様の来年も良き年であることを祈念しております。

## 編集後記

北朝鮮との関係が一時、厳しい状況で、現在、若干の融和が生まれていますが、短距離弾道弾、潜水艦発射弾道ミサイル試射など危険な行為は続いています。韓国と日本との関係が悪化して、友好関係はどうなったのだろうか、どうなっていくのだろうか、と考えます。

国内では、千葉県の台風被害が大きく、ゴルフ場の鉄塔の倒壊による家屋の損壊、風速6.5mにも達したことによる家屋・やねの損壊、停電による波及損害など大きな被害がありました。国外も、国内も大きな事件が続いていますが、今年も10月10日、化学部門でノーベル賞を吉野彰さんが受賞されました。2人に1人が利用していると言われるスマホや携帯電話のリチウムイオン電池を開発した功績です。日本の底力を見る思いの明るいニュースです。

ところで、校友会会報は、23号となりました。編集する際、多面的で豊かな会報としたいと工夫しています。①ご講演をいただいた柿崎先生から、原稿Fileを早々に拝受しました。ご講演内容もさることながら、原稿に感謝申し上げる次第です。② 会報には、会員の意欲が伝わる記事が欲しい。今回は、深澤洋二郎さんが生涯における学習とチャレンジ精神の原稿を寄せてくれました。③ で

支部の運営収入の一助にするため広告を掲載することにしております。広告の意味は、文字どおり会員の広告・宣伝をしていただくわけですが、それ以上に、ここへ掲載するのは、卒業後の活動を表したいとの思いです。通信教育在学時、一生懸命、勉学に勤しみ、他方で、自分の人生がどのように展開して行くか、不安を持ちながらの毎日でした。その在学時からいま、このようなチャレンジをしている、人生を歩んでいるという自己紹介の場でもありたい。

広告料をいくらとするか、校友会での扱いはいろいろです。多くの方の参加を思うと広告料は、安めでよいと考えます。今年も1枠3000円です。みな様の参加をお願いいたします。



発行人 後藤正治 電話 055-941-7000  
事務局 田中由雄 電話 055-987-7880  
渡辺孝哉

日本大学通信教育部校友会静岡県支部  
〒411-0044 三島市徳倉 2-29-9  
田中由雄 方

日本大学通信教育部校友会

## フカザワ海事法務事務所

海事代理士・行政書士 深澤洋二郎

(平成12年 商学部卒)

「学ぶ姿勢」が人生の指針

〒420-0816 静岡県静岡市葵区沓谷4丁目4番16号

TEL/FAX 054-247-9803

Email : yo\_ji1950@yahoo.co.jp

タイ・山岳民族の子供を支援する

1番苦勞した人が1番幸せになる権利がある

## NPO法人 SHIDA

SHIDAはそれを教育の力で実現に挑戦しています

代表理事 杉山 秀夫

(昭和46年法卒)

日本大学通信教育部校友会 静岡県副支部長)

〒425-0068 静岡県焼津市中新田892-1

TEL・FAX (054) 624-3194

URL <http://shida.yu-yake.com>

Email [hsugiyama58@yahoo.co.jp](mailto:hsugiyama58@yahoo.co.jp)

## 小松征夫税理士事務所

税理士 小松 征夫

チャレンジが人生を創る

(平成元年経卒, 平成6年法卒)

日本大学通信教育部校友会 静岡県副支部長)

〒433-8111 静岡県浜松市中区葵西4丁目7番44号

TEL 053-488-4834 FAX 053-488-4843

Email : [yk333@mvd.biglobe.ne.jp](mailto:yk333@mvd.biglobe.ne.jp)

## のぞみ 法律事務所

弁護士 後藤真希子

弁護士 山本 孝介

所長 後藤 正治

弁護士 杉山 裕紀

(昭和43年 経済学部卒)

日本大学通信教育部校友会 静岡県支部長)

〒410-0831 静岡県沼津市市場町12番7号

TEL (055) 941-7000

URL <https://nozomilawfirm.business.site>

# 平成30年度 通信教育部校友会静岡県支部収支決算書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

## 収入の部

科 目	金 額	摘 要
	円	
前年度繰越金	213,525	
会費収入	56,000	56名分
総会収入	56,000	@4,000×13名 @1,000×2名(資料代) 会費@2,000
寄付金収入	2,000	1名
雑収入	90,431	会報発送代本部からの補助(84,880円)
広告費収入	12,000	@3,000×4名(後藤・深澤・杉山・小松)
前受金収入	29,000	11名分
合計	458,956	

## 支出の部

科 目	金 額	摘 要
	円	
消耗品費	28,771	封筒・ゴム印・文具・印刷代
通信運搬費	136,356	幹事会・総会案内郵送料
旅費交通費	0	
会合費	44,820	総会時懇親会
手数料・報酬	30,000	総会時講演料, 事務処理費
雑費	5,000	通信役員年会費
次年度繰越金	214,009	普通預金・郵便振替口座にて保持
合計	458,956	

幹事長 田中 由雄



会計担当 渡邊 孝哉



平成30年度収支について、関係帳簿並びに証拠書類を精査いたしましたが、記帳その他正確であることを認めます。

令和元年6月30日

会計監査 山口 良児



土屋 忠得

